

幼と小をつなぐものとして「幼児期の終わりまでに育てほしい姿」が示されました。これは、発達や学びを具体的な子供の姿として共有し、学校段階等間と接続していくための手がかりになるものです。

互いに子供理解を深め、連携を図る手立てとなることを願っています。



渋谷一典